

報道各社 様

2010年4月14日

小長井漁協の過半数、諫早湾内3漁協正組合員の6割が開門要請署名

漁協名	正組合員数	署名数	%	準組合員	署名数
小長井漁協	98	52	52.0		0
瑞穂漁協	46	46	100	22	18
国見漁協	29	6	27.7	16	0
	173	103	59.5		

この間、中村知事は諫早湾干拓事業検討委員会で、検討委員から「漁民の開門要請もあるのでは」との問いに、大半は開門反対と答えていました。また、新宮小長井漁協組合長は、諫早市内で開かれた2000名集会や東京での集会で「諫早湾内の漁民は全員開門反対」と豪語していました。

私たちは、「権力と補助事業でおさえつけられ漁民は声が上げられない。多くの漁民は心では開門を望んでいる」と言って来ました。

今回、明らかになったのは、新宮組合長のお膝元の小長井漁協でも過半数の漁民が開門を望み、開門反対派は少数であり、諫早湾内の3漁協の正組合員の約6割が開門を望んでいることです。

長崎県知事選時のマスコミのアンケート調査でも明らかになったように、県民の44%が開門賛成、20%が開門反対と県民の多数が開門を望んでいます。

長崎県や開門反対に固執している方々は、この事実をしっかりと見据え、漁民だけを犠牲にすることなく、県民と漁民の願いを土台に、農業・防災と漁業が両立する開門を真摯に検討するべきです。

よみがえれ！有明訴訟弁護団・原告団

「よみがえれ！有明海訴訟」を支援する全国の会
担当 岩井三樹